

◆スマホで図書館活用術◆

右のQRコードから利用者ポータルにログインすると、
いろんな機能が使えます！ぜひご利用ください。

〈利用者ポータル〉



1. スマホがカードに！

図書館の利用カードと同じように、バーコードが使えます。



2. 予約も簡単！

検索して読みたい本が見つかったら、「カートに入れる」から予約できます。
受取場所は
・近江八幡図書館
・安土図書館
・各学区コミセン
(八幡除く)
から選べます。



3. “My 本棚”が作れます！

「読みたい本」と「読んだ本」それぞれ自分だけの本棚が作れます。
図書館に行って本を探するとき、予約したいときに本がを見つけやすくなるので、おすすめです！

☆貸出と返却について☆

・本を30冊まで、CDを3点まで借りられます。予約もOK！
・貸出期間は3週間です。
・借りた本は、図書館の他に、コミュニティセンターや移動図書館、安土駅・近江八幡駅前（観光案内所）のブックポストにも返却できます。

【近江八幡図書館】

TEL：0748-32-4090
FAX：0748-32-4099
開館時間：午前10時～午後6時
休館日：毎週月・火曜日
祝日の翌日

【安土図書館】

TEL：0748-46-6479
FAX：0748-46-6591
開館時間：午前10時～午後6時
休館日：毎週火・水曜日、祝日

高校生向け図書館だよ

HELLO YA!

2026年冬号 近江八幡市立図書館

2月のコーナー展示

とく
好きすぎて読！

例えばこんな本も
・推し活『双眼鏡の推しごと』
日の出光学／著（オーム社）
・恋する虫の生體『恋する屁こき虫』
工藤清／著（みらいパブリッシング）

恋愛や友愛、家族愛、モノや場所への愛、推しへの愛…など、
愛は千差万別です。いろいろな「好き!」を、読んで味わってみませんか。



3・4月のコーナー展示

2025

としよかん新作フェア

例えばこんな本
・『寝てる場合じゃねえんだよ』
竹宮ゆゆこ／著（実業之日本社）
・『疑惑 文豪×ミステリー傑作集』
（汐文社）
・『哲学なんていらぬ哲学』
あの／著（KADOKAWA）



2025年4月以降に図書館で買った本を集めました。
最新のあんな本やこんな本、新しいうちに読んでおこう!!

『鳥が好きすぎて、すみません』



細川 博昭／著
(誠文堂新光社)

子どものころから鳥と身近に暮らしてきた著者が、鳥に関する知識のほか、共に暮らす鳥との出会いや思い出などをつづったエッセイです。鳥の意外な一面や、一緒に生活を送る楽しさ、そして筆者の鳥への愛がぎゅゅとつまっています。

『歪曲済アイラービュー』(新潮社)



住野 よる／著
世界が滅亡を迎えると知ったら、あなたは どうしますか？本書は、そんな状況に立った Youtuber や高校生、犬といった人物それぞれの目線で描かれた連作短編集です。「最後」のために、秘めていた愛や欲望に駆られる人物たちの、疾走感溢れる物語が詰まっています。

『落雷と祝福』



岡本 真帆／著
(朝日新聞出版)

「ハンドルは正しく握りチェンソーのキックバックにご注意ください」(p.32) 漫画や映画、動物など著者の好きなあらゆるものを短歌にして、それらへの愛が語られています。詠み方コラムを参考に、あなたも「好き」を短歌にしてみませんか。

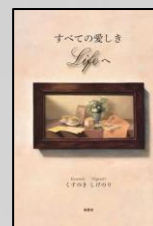
『恋せぬふたり』



吉田 恵里香／著
(NHK 出版)

他者に恋愛感情を抱かないアロマンティック、他者に性的に惹かれないアセクシュアルである咲子と高橋。2人は恋愛感情抜きで家族になることを試みます。

『すべての愛しきLifeへ』(瑞雲舎)



くすのき しげのり／著
誰も働いていないし、何も売っていない、小さな町外れの「Life」という店。でも、品物があってお客もやってくるのです。誰かが何かを置いていき、何かを持って帰るこの店には、笑顔や喜びが詰まったみんなのLifeがあふれています。

『恋愛問題は止まらない』(小学館)



吉野 万理子／作
東郊中学の野球部に出された「丸刈り指令」。恋愛がらみで出されたこの指令をきっかけに、登場人物たちの多種多様な恋愛観や恋愛模様が語られていきます。それぞれの物語が重なりあっていく様子をぜひ楽しみながら読んでください。

『ハルカと月の王子さま』(双葉社)



鈴木おさむ／作
遙は、「月の王子さま」の描かれたマグカップが気に入って、大切に使っていました。「遙のために役に立ってやる」と誓ったマグカップは、いつも遙の成長を見守り、幸せを願って応援し続けます。

いろんな「好き」の本、あつめました。

好きすぎて読！

『天才なのに変態で愛しい数学者たちについて』 郷 和貴／著 (KADOKAWA)



数学史上最も美しい等式をみつけたオイラー。彼は寝付けないとき、1 から 100 までの各数字の 6 乗を計算する“遊び”をしていたとか。数学に魅了された天才たちの意外な一面をのぞいてみませんか。